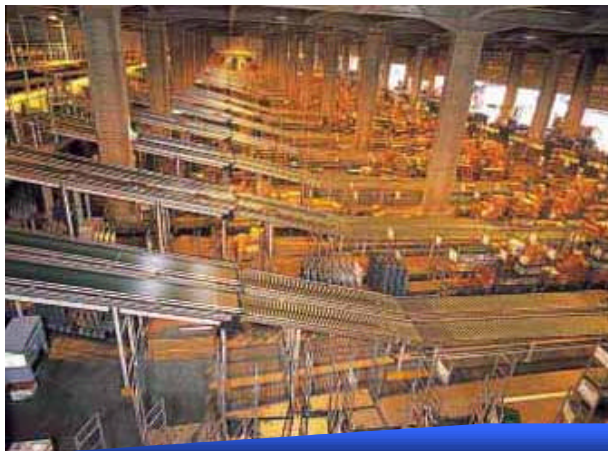




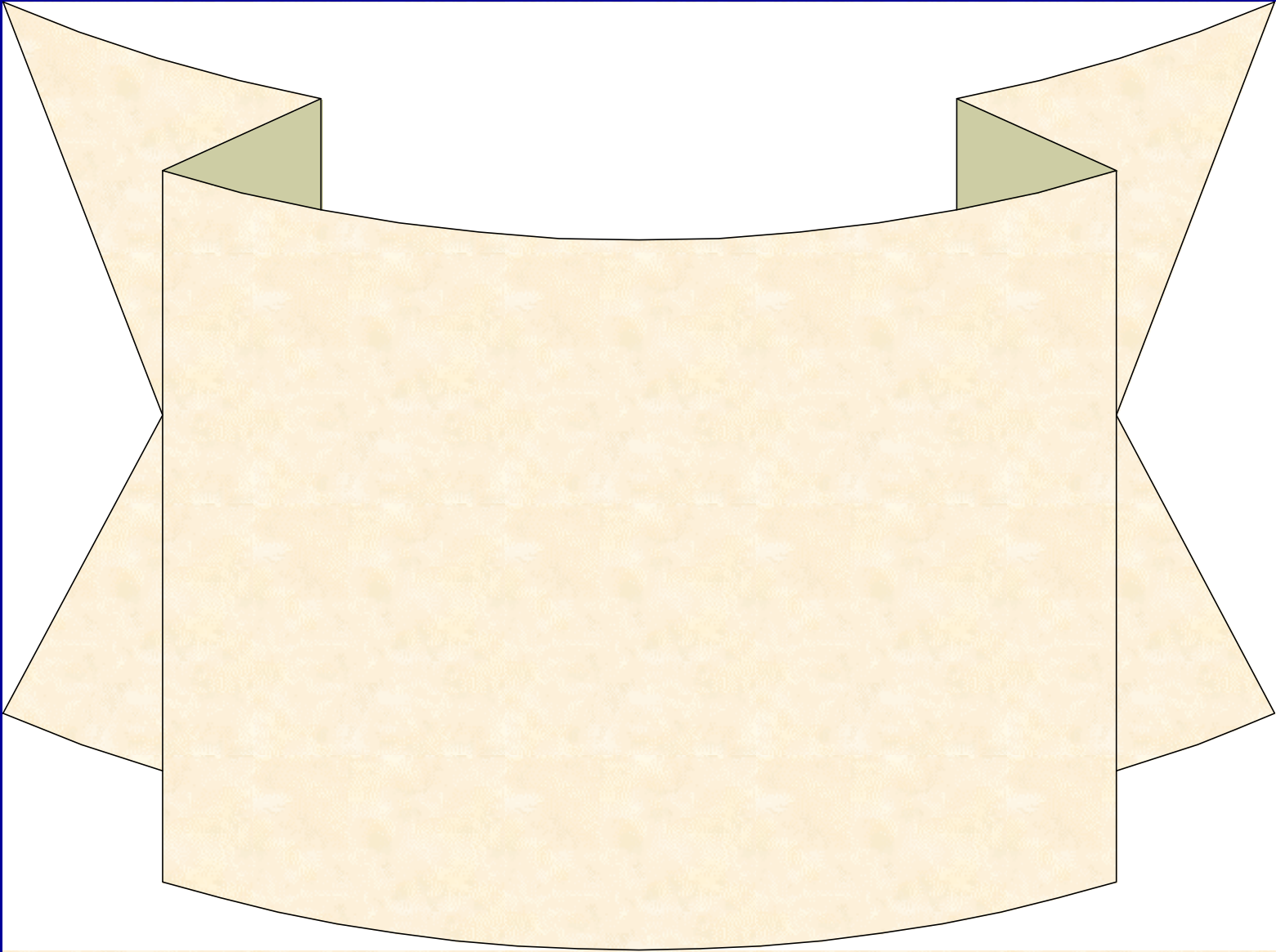
「食」を通じて消費者と社会に貢献する
リーディングカンパニー
伊藤忠食品株式会社



2001.3月期
中間決算説明会

200年 5月24日



- 
1. **当社の概要**
 2. **上期の状況**
 3. **今後の展望**

当社の概要

創業： 1886年 2月

設立： 1918年11月

売上高： 4,998億円

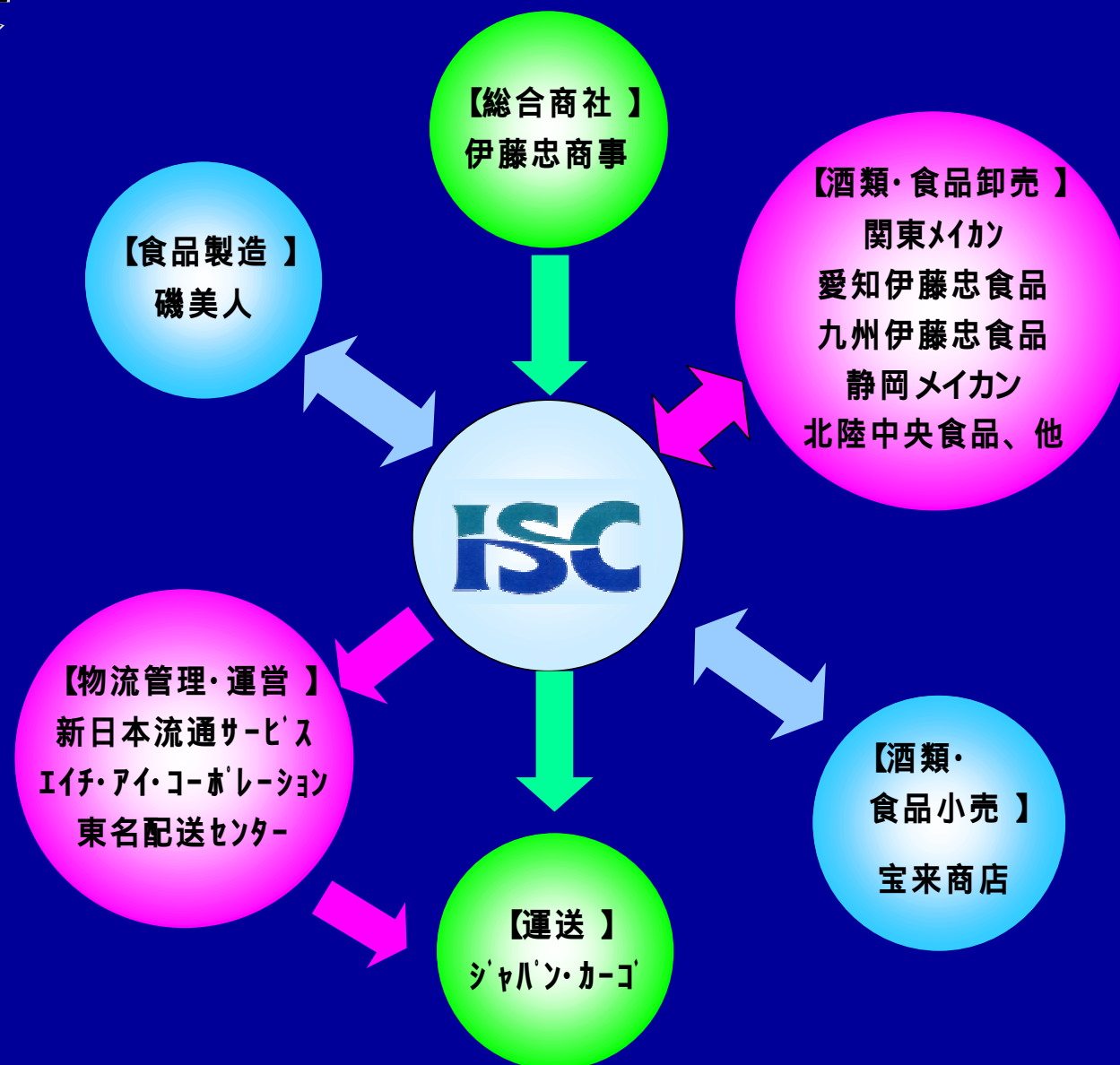
経常利益： 61.5億円

従業員数： 1,438人

子会社： 13社

関連会社： 5社

(2000年9月期 連結ベース)



当社の特長

商社系

イトーヨーカ堂、

セブン-イレブンの NO.1 ベンダー

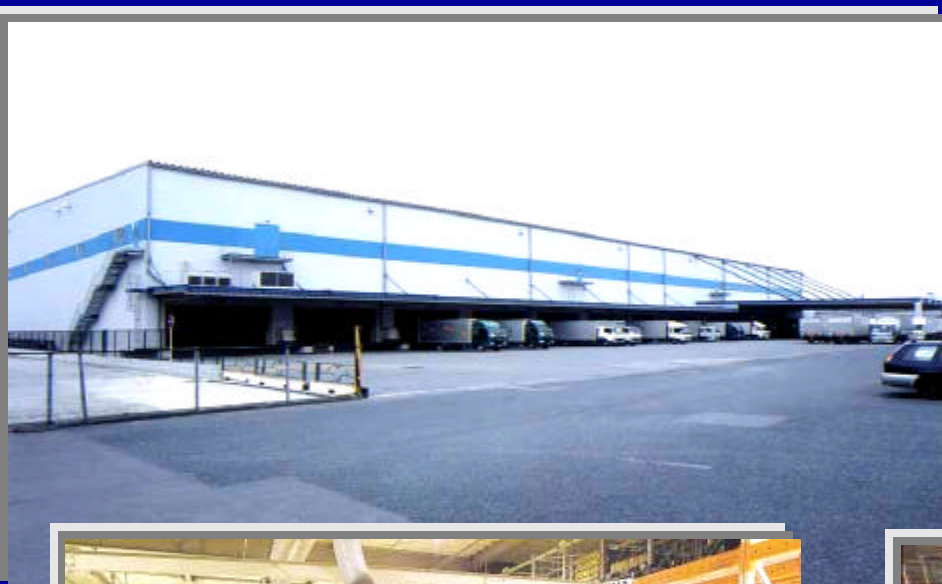
総合的な情報システム

I-MACSに裏付けされた高い生産性

取引先に応じたギフト納品システム機能

酒類卸売免許を全国に保有

相模原加食共配センター (イトーヨーカ堂向け)

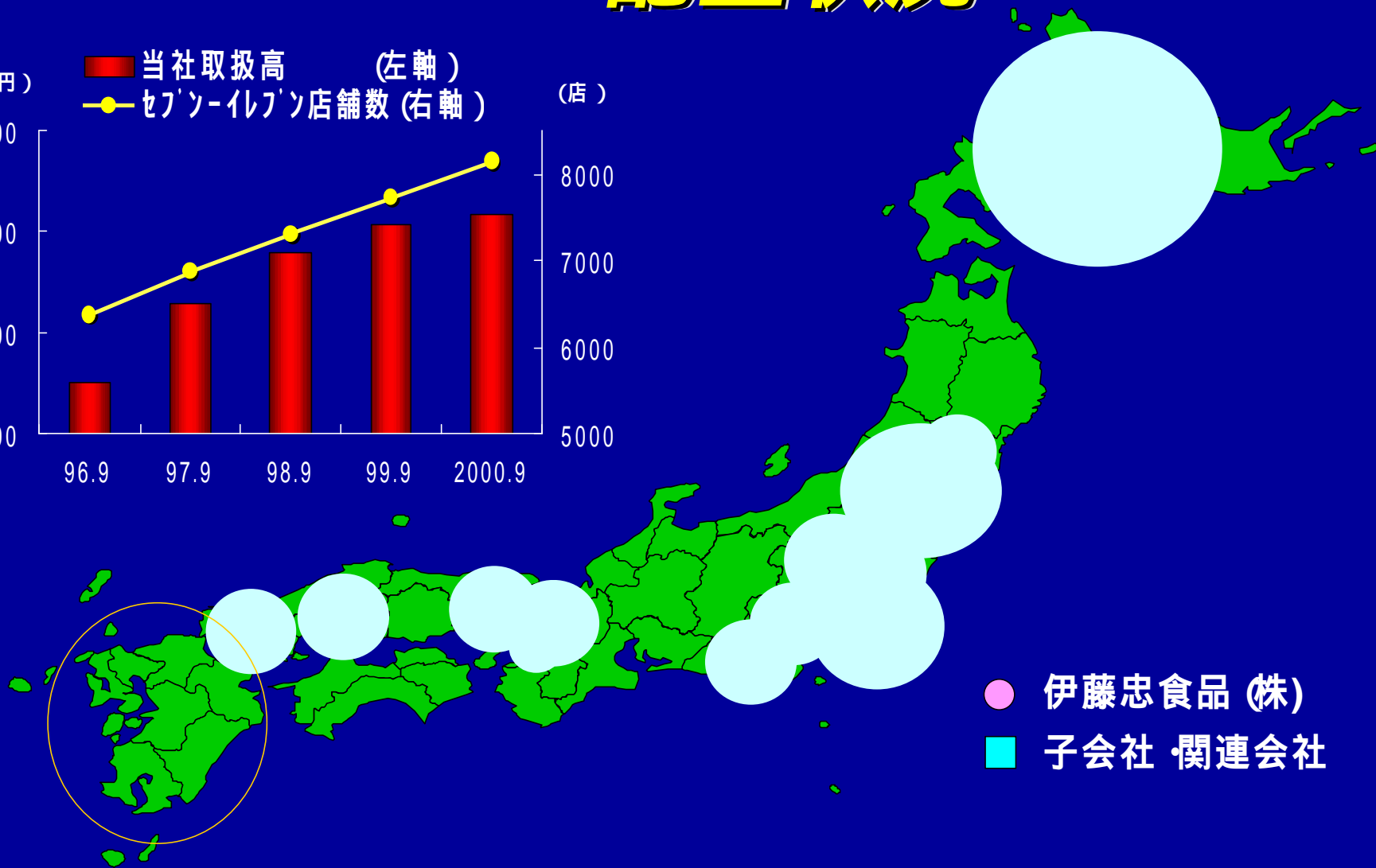
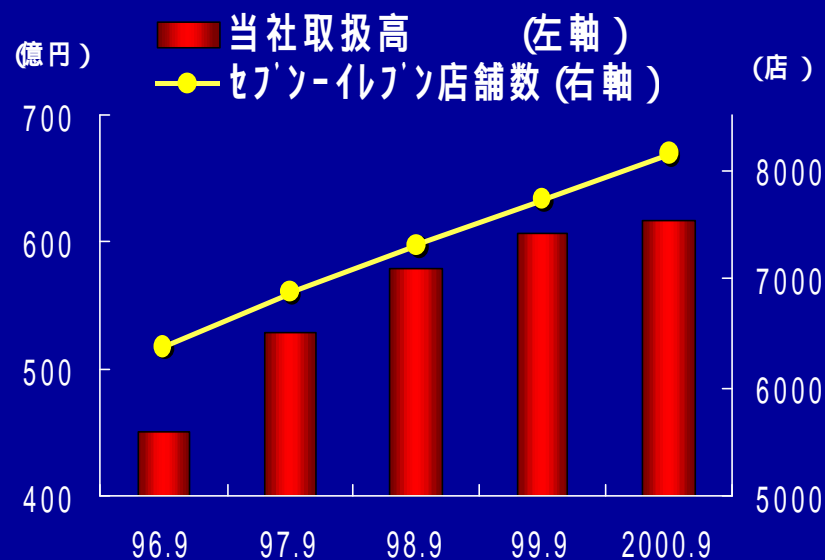


センター概要

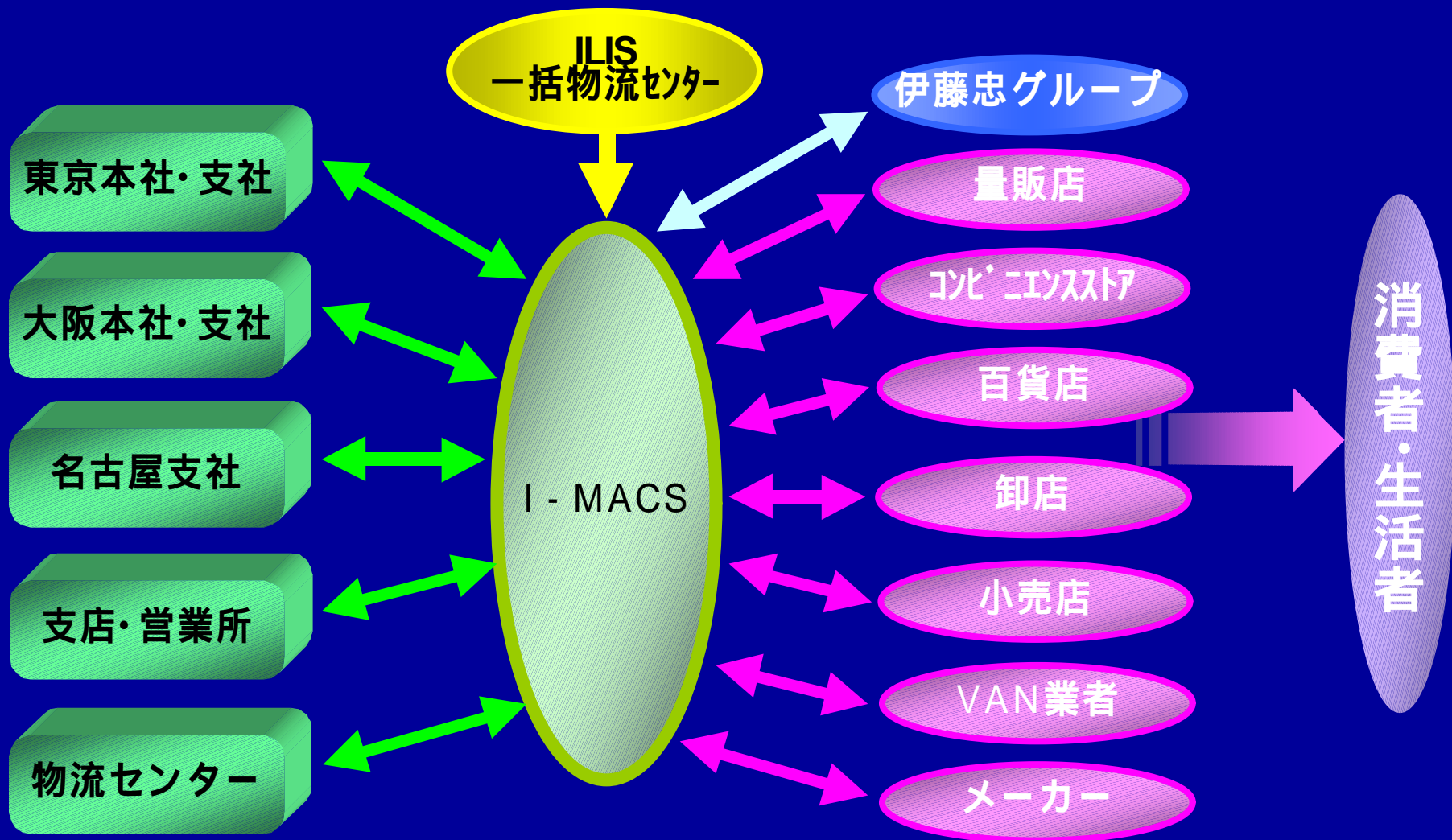
敷地面積 :5651坪
延床面積 :6078坪
取扱アイテム数 :4600



セブン-イレブン向け専用センター 配置状況

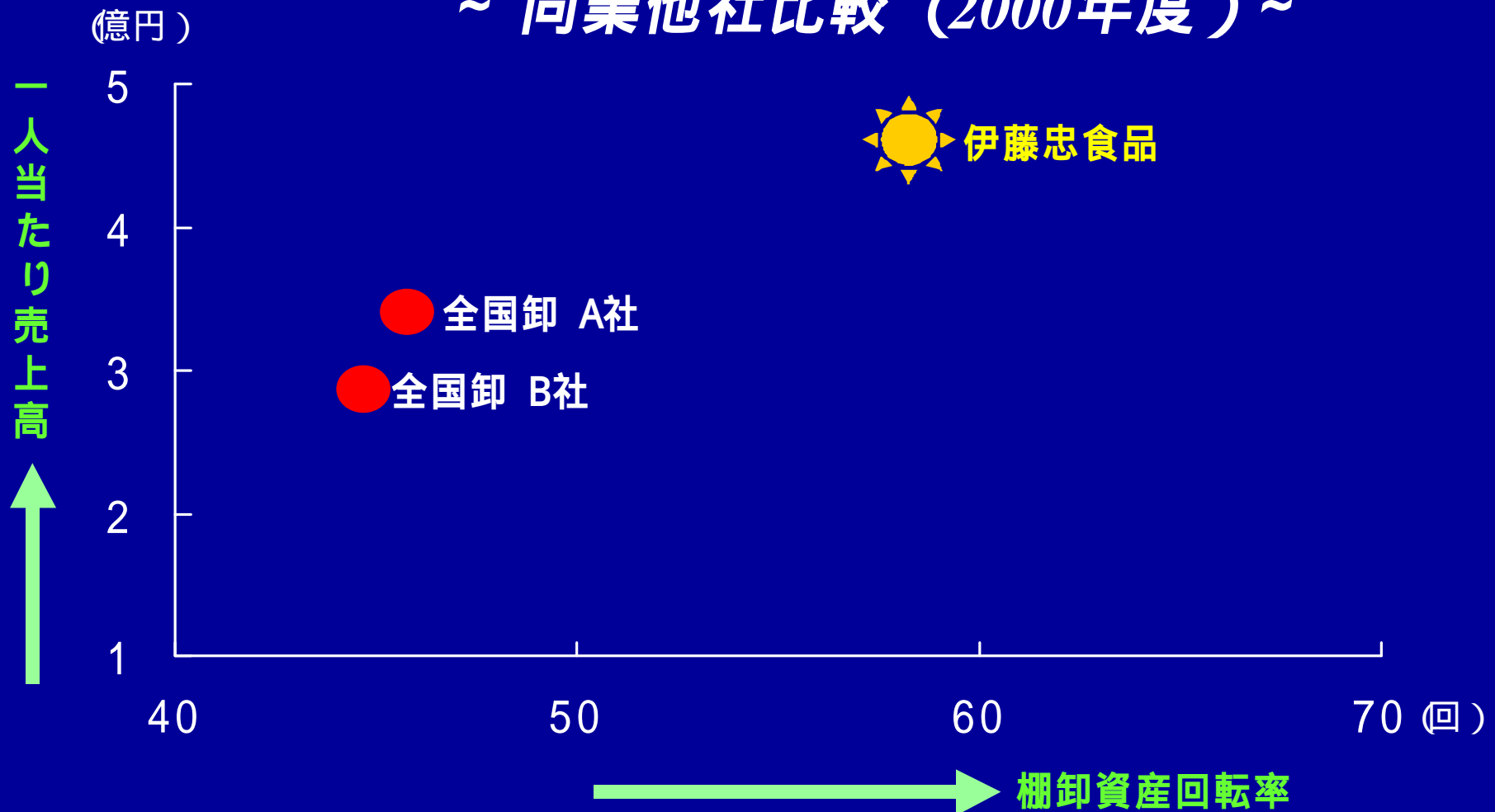


総合的な情報システム I - MACS



I-MACCSで実現された 高い生産性

～ 同業他社比較 (2000年度) ～



目次

1. 当社の概要
2. 上期の状況
3. 今後の展望

足元の業界環境

☆ 消費者

食料品の価格低下傾向に高い支持、期待
一方では特色、付加価値のある商品を指向

☆ 販売先

スーパー 新規出店により対前年売上クリアするものの
競合店増加による値引きの恒常化

CVS 競合店増加、不採算店のスクラップ&ビルド

百貨店 売上高落ちこみ小幅、底打ちか？

一般小売店、
2次卸 経営不振、M & A等による整理淘汰進行

☆ 規制緩和

酒類小売業免許規制の段階的廃止
大規模小売店舗立地法への移行

当社の対応

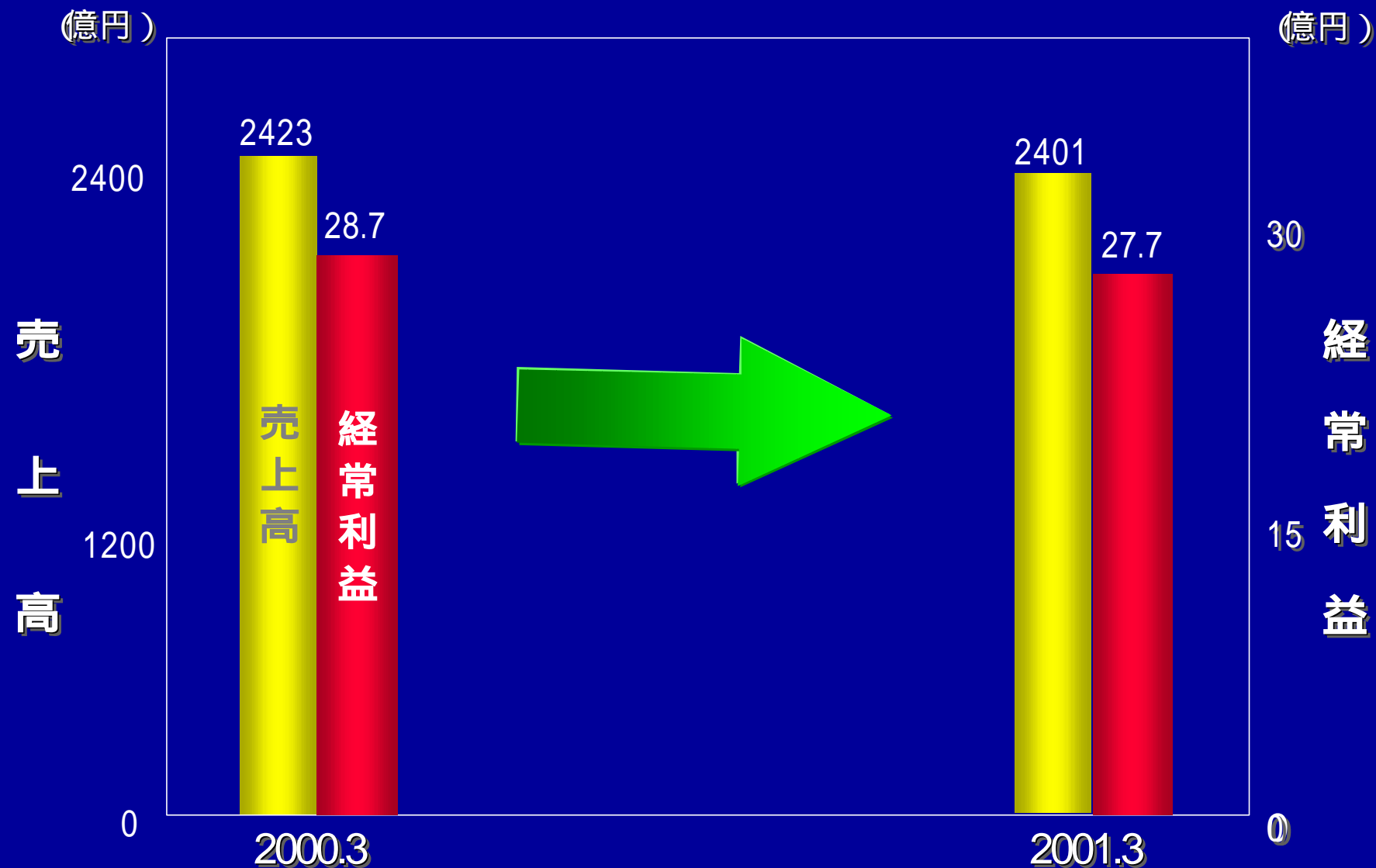
☆ 売上面

- 一括物流受託による商流拡大
- ・外食産業への積極アプローチ
- ・地域スーパーへの拡販を推進
- ・酒類拡販プロジェクトチームを発足
- ・ギフト市場での百貨店のフォローアップ及び新規開拓

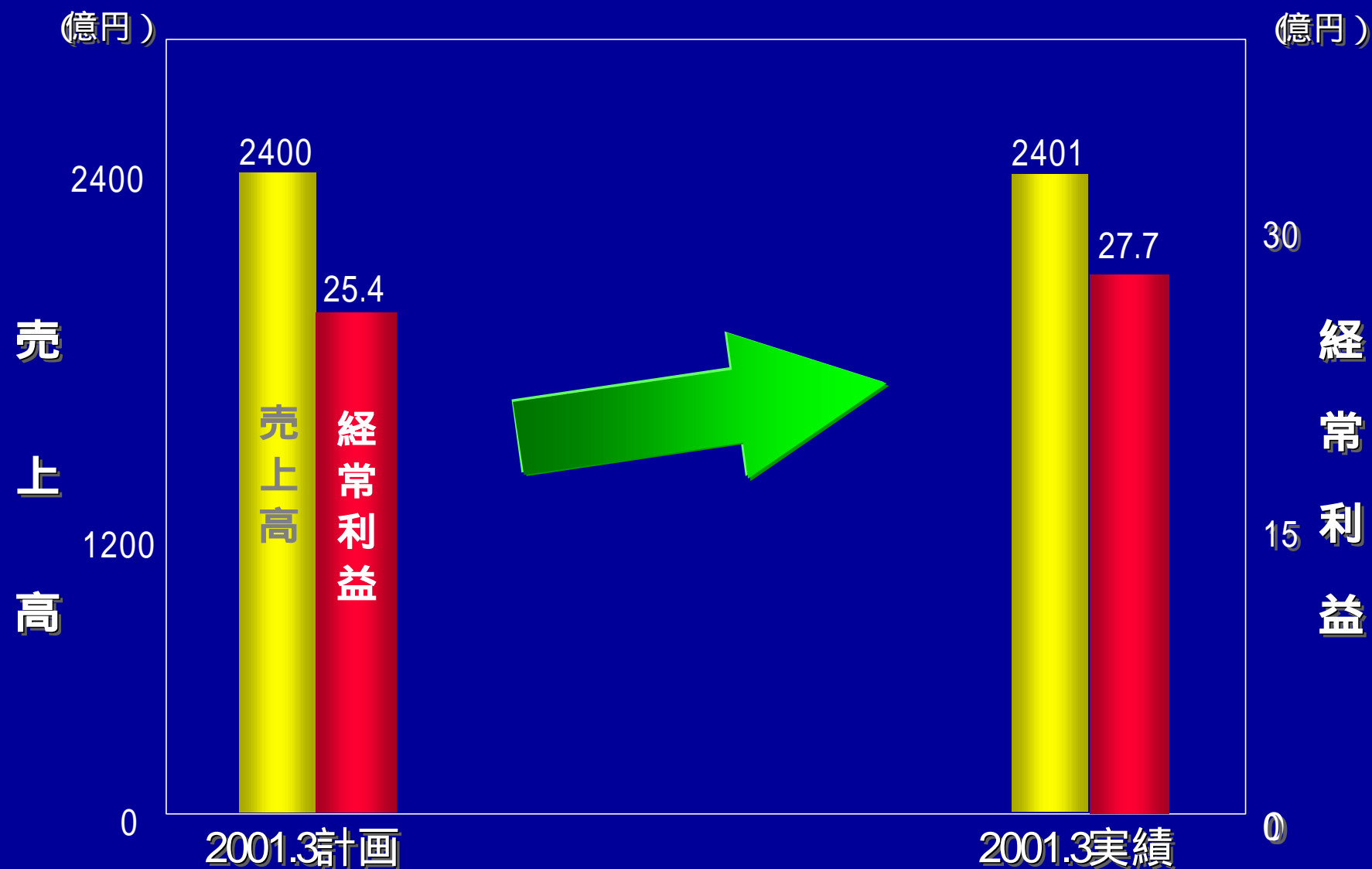
☆ 利益面

- ・既存物流委託業者の選別
- ・経営不振先の与信管理徹底、取引中止
- ・自社物流センターのスペース有効利用
- ・金利、地価低下により賃借家賃の減額交渉

上期の実績 (前年同期比)



上期の実績 (計画比)



今上期のトピックス

座間加工食品センターが稼動

センター概要

敷地面積 :2,997坪

延床面積 :3,283坪

取扱アイテム数 :4,500

〔	加工食品	2,500	〕
	菓子類	1,000	
	酒類	1,000	

- ・カテゴリー別カゴ車納品
- ・店舗ノー検品システム
- ・納品受領情報のペーパーレス化



今上期のトピックス

城東アソートセンターが稼動

センター概要

敷地面積 : 635坪
延床面積 : 1,170坪
生産能力 : 6,000セット/1日当り

城東アソートセンター



外観 夕景



3階 仕分室

目次

1. 当社の概要

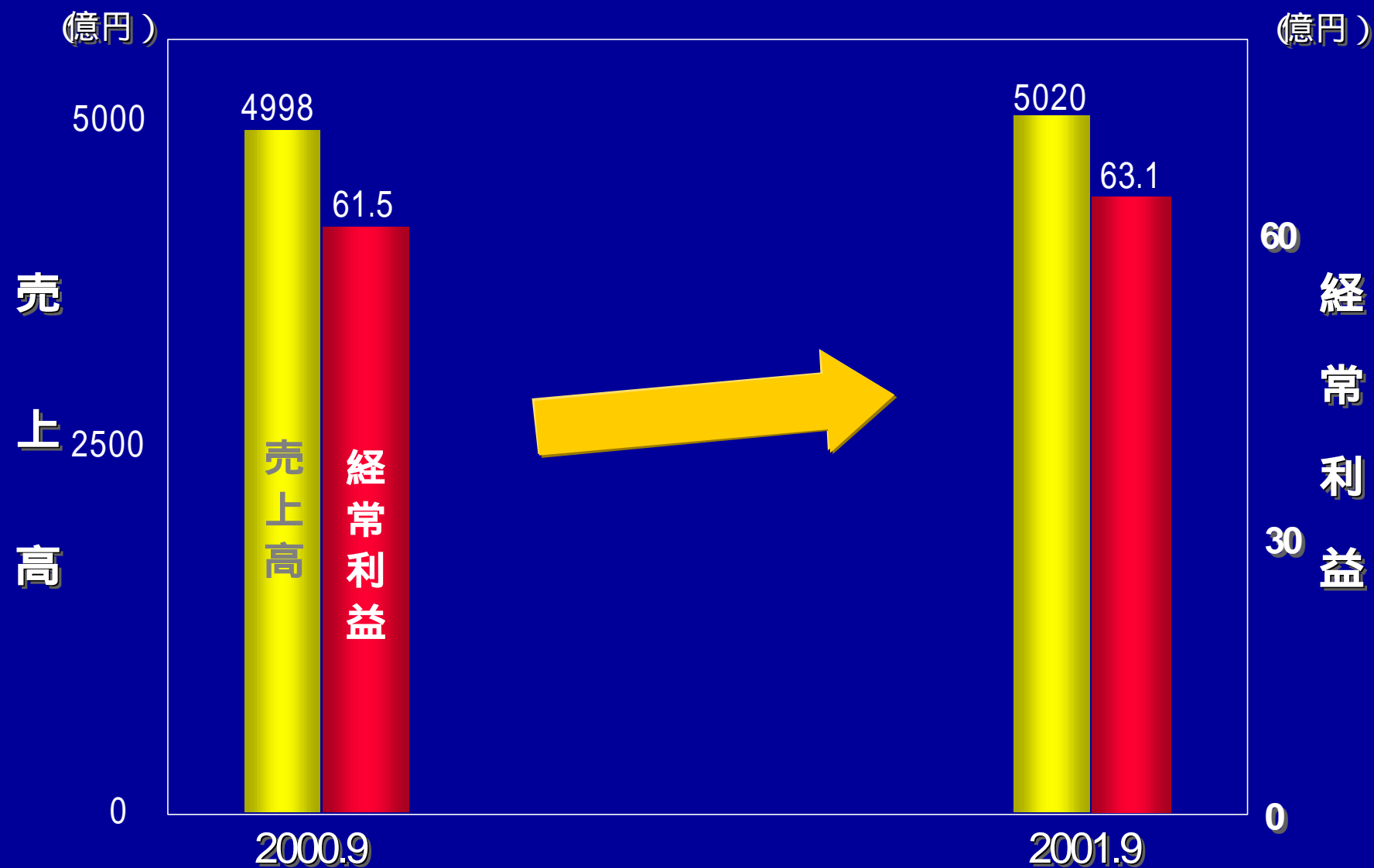
2. 上期の状況

3. 今後の展望

下期以降の業界環境見通し

- ☆ デフレ経済環境下、
消費者も低価格傾向を再認識
- ☆ 中小小売業、卸業の倒産・再編
- ☆ 百貨店、スーパー共、
売上増加期待薄、収益体質強化へ
- ☆ CVSの新規店舗計画は大量出店継続

2001.9期の業績予想



目標達成のための 具体的な戦略について

1.業態別：

CVS・スーパー・百貨店は、今後とも重要な取り組み先
今後はリージョナルSM 外食産業への営業を強化

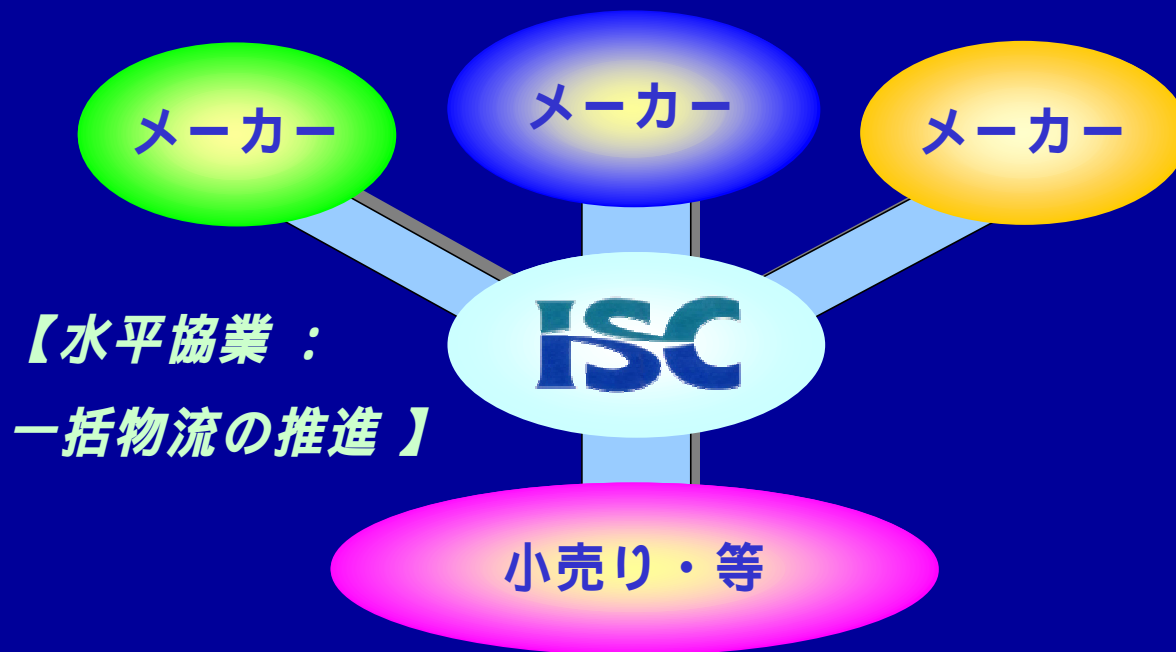
2.商品群別：

通年ギフト市場の獲得をめざす
百貨店のみならず、あらゆる業態へアプローチ
規制緩和を控え、酒類拡販強化を推進

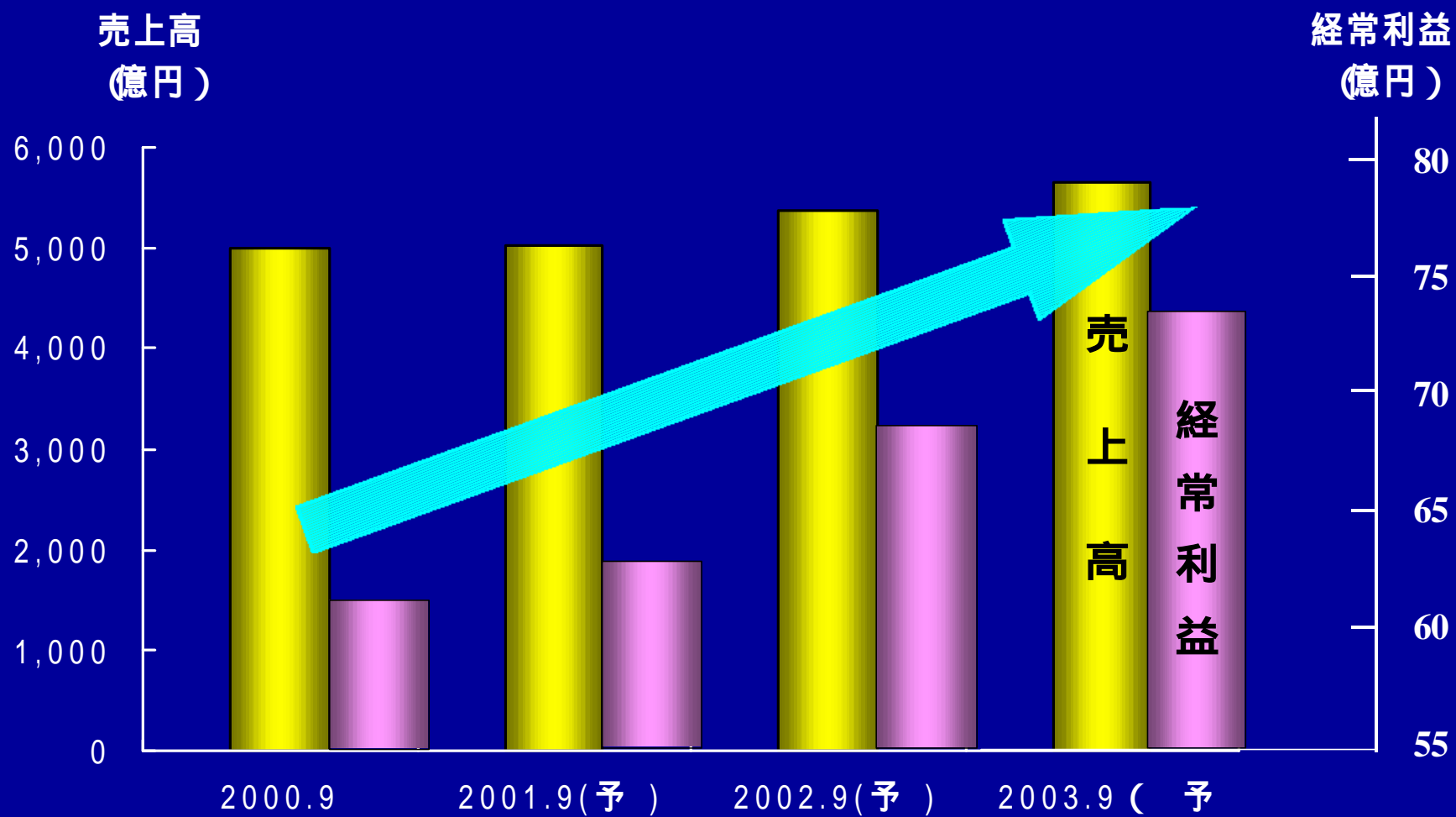
当面の目標と方策について

大きな会社より、よい会社
～ 売上高よりも、利益重視の会社造り～

【垂直協業 : メーカー・小売りとのコラボレーション】



中期目標



「食」を通じて消費者と社会に貢献する
リーディングカンパニー



2001.3月期
中間決算説明会

伊藤忠食品株式会社

2001年 5月 24日

